

「超成熟社会」の予防医療における 医療コーチングの普及 ～健康寿命の延伸、労働力不足の解消に向け～

慶應義塾大学 理工学研究科 博士課程
博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型1期生

加藤 拓巳

概要

- ▶ 予防医療を発展させ、健康寿命の延伸を図るための、**医療コーチング普及事業**を提案する。
- ▶ 健康寿命の延伸は、高齢化に伴う労働力不足の解消に寄与すると考えられる。
- ▶ 予防医療において重要な要素である医療コミュニケーションに焦点を当て、それを担う医療者に必要な能力を明確化にし、医療者の育成、能力の保証を行う。
- ▶ 超成熟社会におけるQoLの向上や**医療費支出削減**の効果も期待される。

実現すべきビジョン

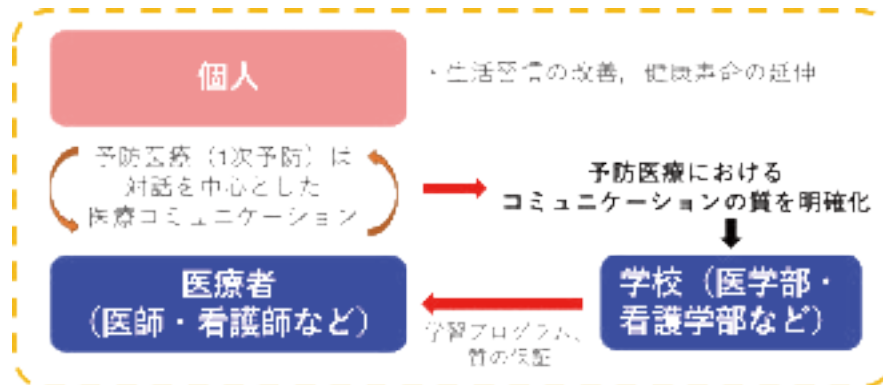
＜健康長寿立国として、世界に先駆けて健康寿命延伸の方法を確立する。＞

- ▶ 個人
 - ・病気になる前の対処で、より健康に。
 - ・医療コーチングの処方を通じて、健康に対して自律したマインドを獲得。
- ▶ 社会
 - ・健康寿命の延伸→働くという選択肢を心身の都合によって阻害されない。→労働期間の延長。

提言の具体的内容

- ▶ 予防医療における生活指導・保健指導を行なう上での必須の能力として医療コーチングを明確化し、それを担う医療者（医師、看護師など）が技術を習得できるように教育する。

＜質の高い予防医療（保健指導）の実現＞→医療コーチング技術の普及により達成



具体的な提言項目

- 提言 1 医療コーチングを医療者の教育課程の中に
- 提言 2 医療コーチングの質を担保する資格の整備
- 提言 3 コーチングの健康増進にたいする有効性をより確かにするための研究助成

提言先 厚生労働省、文部科学省他